

とくていひえいりかつどうほうじん くまとりこどもとおとなのねっとわーく

特定非営利活動法人 熊取こどもとおとなのネットワーク 【大阪府推薦】

<http://www.rinku.zaq.ne.jp/npo-kumatori/>

あいば ひであき

代表者名：愛場 秀明 団体構成人数：412名

■ 活動内容等

「全ての子どもたちの豊かな放課後を」スローガンに任意団体として昭和53年に設立し、平成12年に特定非営利活動法人として認証されました。地域に開かれた団体として学童保育所が出発してから32年、その地道な努力の積み重ねにより、今は「子育て」に関する団体として熊取町になくてはならない存在になりました。

学童保育とは、ただ単に子どもを預かるための場ではなく、留守家庭児童が放課後や学校休業日に生活し過ごす居場所です。子どもたちにとっては家庭の代わりとなり、親に代わって自分たちのことを受け止めてくれる大人がいる場が、学童保育所でありその大きな役割を担っています。また、1年生から6年生までの異年齢集団での学童保育所として、希望する子どもたちを全て受け入れている学童保育所として大阪府はもとより全国の活動団体や自治体からも注目されています。また運営は民設民営でおこなっています。こどもたちの自由な発想を大事にしながら「あそび」を中心にした「生活」を創りあげるなかで、自立を促す子どもたちの居場所となっています。また「子育て・親育ち」を楽しむというおとなたちの人間関係を、保護者会を中心につくりながら「共同の子育て」の方針のもとに学童保育活動に取り組んでいます。さらに近年は、障がい児の受け入れも積極的に行い、また中高生の居場所「中高生のたまり場」や、不登校を考える親たちの集い「ぼちぼちいこ会」の開催をするなど、まさに地域の全ての子どもたちのための居場所となっています。



熊取学童保育30周年記念撮影の様子



子育て親育ちトーク&トーク(地域に向けての子育ての集い)の様子

■ 受賞者からの一言

私たち「NPO」の目標は、「全ての子どもたちの豊かな放課後を」であり、働く親たちの気持ちを受けとめて、「安心して働き続けられるよう」努力してきています。

また、私たちは、学童保育だけではなく、学童保育所に入所していない地域の子どもたち向けに遊びの発信活動や居場所づくり、中高生向けにたまり場の開設、中高生の親たちの会や不登校生の受け入れと不登校生の親の会、

障がい児の受け入れと発達障がいを考える親の会等を運営していますが、昨今の女性の社会進出の増加と1人親世帯の増加、人とのつながりを苦手とする大人の増加、不登校や虐待等々の厳しい子育て環境下であって、民設民営であるゆえの財政的運営に何時も苦労しており、公的支援の充実を願うものです。